

## HPE DL/ML サーバー M.2 SSD Enablement ボードのイ ンストール手順

### 摘要

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書に記載のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

© Copyright 2014, 2021 Hewlett Packard Enterprise Development LP

部品番号: 794597-193  
発行: 2021 年 9 月  
版数: 3



\* 7 9 4 5 9 7 - 1 9 3 \*

### 概要

本書では、HPE サーバー M.2 SSD Enablement ボードの取り付け手順について説明します。取り付け手順について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト <https://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs> のサーバーのユーザーガイドを参照してください。

### 警告および注意事項

規制準拠に関する通知と安全に関する重要な情報は、アダプターのユーザーガイドと、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにあるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報 <https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts> に掲載されている規制準拠に関する通知を参照してください。

**警告:** けがや装置の損傷を防ぐために、取り付けを開始する前に、ご使用のサーバーに付属の安全上の注意事項とユーザードキュメントを参照してください。

一部のサーバーには、危険な高エネルギー回路、高電流回路、可動部品（ファンブレードなど）、またはその任意の組み合わせが含まれ、製品が電源装置に接続されているときにカバーやアクセスパネルを取り外すと危険にさらされる場合があります。製品を修理する場合は、これらの危険な箇所の取り扱いに関するトレーニングを受け、保守の資格がある担当者のみが行ってください。このような危険な状態から防護するために取り付けられたエンクロージャーを取り外したり、インターロックを無効にしたりしないでください。

**警告:** 感電を防止するために、システムを AC 電源から完全に切り離してから、ノンホットプラグハードウェアオプションのシステムへの取り付けや交換を行ってください。すべての電源コードを抜き取って、サーバーの電源を完全に切ってください。

**警告:** 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

**重要:** PCI/PCI-X アダプターは必ず、PCI/PCI-X スロットに挿入する必要があります。PCI Express アダプターは必ず、PCI Express スロットに挿入する必要があります。サーバーアダプターの種類を確認するには、サーバーアダプターのユーザーガイドを参照してください。PCI/PCI-X スロットおよび PCI Express スロットの位置を確認するには、サーバーのユーザーガイドを参照してください。

### 重要な注意点

次の要件に従ってください。

- DL360 実装では、DL360 Gen9 サーバーの PCIe スロット 3 に M.2 Enablement PCA を取り付けないでください。DL360 Gen9 PCI スロットの取り付け要件について詳しくは、DL360 QuickSpecs を参照してください。
- ML350 実装では、M.2 Enablement PCA は ML350 Gen9 サーバーのスロット 1 にのみ取り付けられます。ML350 Gen9 PCI スロットの取り付け要件について詳しくは、ML350 QuickSpecs を参照してください。
- SR100i RAID が有効になっている DL325 Gen10 Plus サーバーの場合、Enablement ボードに取り付けられた SATA M.2 SSD では RAID 機能が使用できません。

## DL/ML サーバーでの M.2 SSD Enablement ボードの取り付け

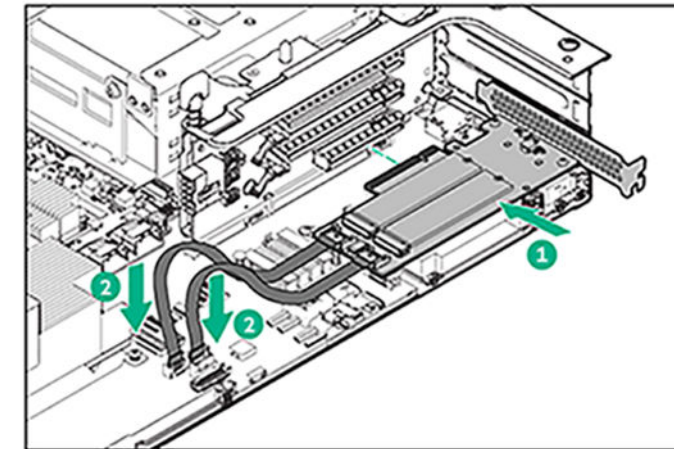
### 手順

- サーバーの電源を切ります。
- すべての電源の取り外し：
  - 各電源コードを電源ソースから抜き取ります。
  - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- サーバーをラックから引き出します。
- アクセスパネルを取り外します。
- PCIe ライザーケージを取り外します。
- M.2 SSD Enablement ボードのスロットのカバーを取り外します。
- M.2 SSD Enablement ボードを取り付けます。

**重要:** PCIe M.2 SSD Enablement ボードはアレイコントローラーに接続しません。

  - 各 SATA ケーブルの一方の端を M.2 SSD Enablement ボード上の SATA コネクターの 1 つに挿入し、SATA ケーブルのもう一方の端をサーバー上のデータポートの 1 つに挿入します。

- M.2 SSD Enablement ボードを、サーバーの x4 PCIe スロットにしっかり固定します。



**重要:** M.2 SSD Enablement ボードには、フルレングスとハーフレングスがあります。フルレングス、またはハーフレングスの M.2 SSD Enablement ボードの取り付けの詳細は、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト <https://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs> のサーバーのユーザーガイドを参照してください。

- M.2 SSD Enablement ボードのスロットのカバーを取り付けます。
- PCIe ライザーケージを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- サーバーをラックに取り付けます。
- 各電源コードをサーバーに接続します。
- 各電源コードを電源に接続します。
- サーバーの電源を入れます。

以上で取り付けは完了です。

## DL/ML サーバーでの M.2 SSD Enablement ボードへの SSD モジュール の取り付け

### 手順

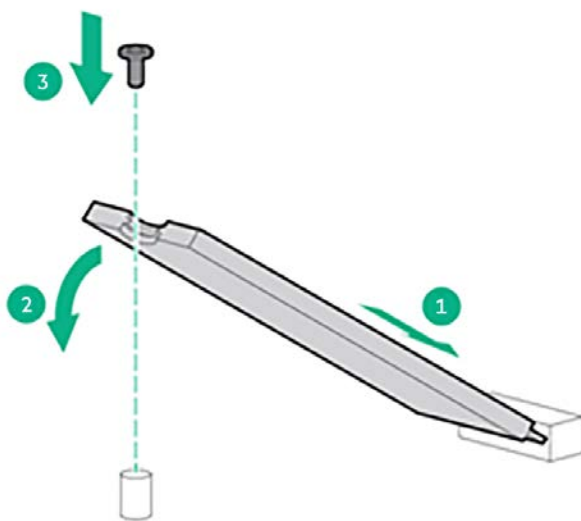
- サーバーの電源を切ります。
- すべての電源の取り外し：
  - 各電源コードを電源ソースから抜き取ります。
  - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- サーバーをラックから引き出します。
- アクセスパネルを取り外します。

5. PCIe ライザーケースを取り外します。
6. M.2 SSD Enablement ボードの slots のカバーを取り外します。
7. M.2 SSD Enablement ボードを取り外します。
  - a. SATA ケーブルの一方の端を M.2 SSD Enablement ボード上の SATA コネクタから外し、サーバー上の各データポートから SATA ケーブルのもう一方の端を抜き取ります。
  - b. M.2 SSD Enablement ボードをやさしくつかみながら引っ張り上げ、サーバー上の PCIe slot から取り外します。

ⓘ **重要:** SSD モジュールの管理と監視のために、HPE Smart Storage Administrator <https://www.hpe.com/support/ssa> を使用します。

8. SSD モジュールを M.2 SSD Enablement ボード上に取り付けます。
  - a. 45 度の角度で SSD slot に SSD モジュールを挿入し、M.2 SSD Enablement ボードにゆっくり押し込みます。
  - b. SSD モジュールをネジで M.2 SSD Enablement ボードに固定します。
  - c. 2 番目の SSD モジュール (M.2 SSD Enablement ボードは最大 2 つのモジュールを保持) を取り付け場合は、プロセスを繰り返します。

**注記:** M.2 SSD Enablement ボードでは、取り付けの両方の M.2 SSD モジュールの部品番号が同じである必要があります。



9. M.2 SSD Enablement ボードを取り付けます。  
x4 PCIe M.2 SSD Enablement ボードの取り付けについては、[DL/ML サーバーでの M.2 SSD Enablement ボードの取り付け](#)を参照してください。

10. M.2 SSD Enablement ボードの slots のカバーを取り付けます。
11. PCIe ライザーケースを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源に接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

以上で取り付けは完了です。

## ドライバーおよびソフトウェアのダウンロード

以下の手順で M.2 SSD Enablement ボードのドライバーとソフトウェアをダウンロードします。

### 手順

1. Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト <https://www.hpe.com/support/hpesc> にアクセスします。
2. ドライバー&ソフトウェアダウンロードを選択します。
3. 検索ボックスにアダプター名をタイプして検索をクリックします。

## 取り付けの完了

ご使用のオペレーティングシステムおよび M.2 SSD Enablement ボード用のドライバーのインストールと構成については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト <https://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs> を参照してください。

## 追加情報の入手先

その他の参照情報については、Hewlett Packard Enterprise 製品販売店にお問い合わせになるか、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイト <https://www.hpe.com/support/hpesc> を参照してください。

## 安全と規定準拠

安全、環境、および規制に関する重要な情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報 <https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts> を参照してください。

## BSMI notice

警告使用者:

此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻擾動，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

## Canadian notice (Avis Canadien)

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations, CAN ICES-3(A)/NMB-3(A).

Cet appareil numérique de la class A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

## Chinese notice

### Class A equipment

声明  
此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对干扰采取可行的措施。

## FCC Notice, Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

## Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Enterprise may void the user's authority to operate the equipment.

## European Union regulatory notice



Products bearing the CE marking comply with one or more of the following EU Directives, as may be applicable:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC
- R&TTE Directive 1999/5/EC

- RoHS Directive 2011/65/EU

Compliance with these directives is assessed using applicable European Harmonised Standards.

The full Declaration of Conformity can be found at the following Hewlett Packard Enterprise website: <https://www.hpe.com/eu/certificates>. Search with the product model name or its Regulatory Model Number (RMN), which may be found on the regulatory label.

The point of contact for regulatory matters is Hewlett Packard Enterprise GmbH, Dept./MS: HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY.

## Japanese class A notice

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

## Korean class A notice

A급 기기 (업무용 방송통신기기)	이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.
-----------------------	---

## ドキュメントに関するご意見・ご指摘

何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) のフィードバックボタンとアイコン (開いているドキュメントの下部にあります) からお寄せください。